

SDGsの達成に向けて 働き方改革「治療と仕事の両立」

誰ひとり取り残されることなく、人類が安定してこの地球で暮らし続けることができるように、世界のさまざまな問題を整理し、解決に向けて持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の17の目標を示したのが、SDGs（持続可能な開発目標）です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs推進のための具体的施策をとりまとめた『SDGsアクションプラン2022』の「働き方改革の着実な実施」の中で、「治療と仕事の両立」の取組などが掲げられています。

事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドラインについて

近年、高齢化の進展等により、健康上何らかの問題や疾病を抱えながら働く労働者が増加する傾向にあります。一方で、診断技術や治療方法の進歩により、疾病を抱えていても離職や休職をせずに治療を受けながら仕事を続けられる可能性が高まってきています。

しかし、疾病を抱える者の中には、「仕事上の理由で適切な治療を受けることができない」「自分自身の疾病に対する理解不足や職場の理解・支援体制の不足」「治療と仕事を両立することが困難」などにより離職を余儀なくされたりする事例がみられます。

このような現状を踏まえ、平成28年2月（令和4年3月改訂）に「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」が定められました（裏面参照）。



事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドラインの内容

事業場において、治療が必要な疾病を抱える労働者が、業務によって疾病を増悪させることがないよう、治療と仕事の両立のために必要となる就業上の措置や治療に対する配慮が適切に行われるようにするため、両立支援を行うための環境整備、個別の両立支援の進め方など、具体的な取組方法等をまとめたもの。

背景・現状

- 治療技術の進歩等により、「不治の病」から「長く付き合う病気」に変化
(例：がん5年相対生存率が向上 平成5～8年53.2% → 平成15～17年58.6% → 平成24年～平成25年67.3%)
- 仕事をしながら治療を続けることが可能な状況
(例：仕事をもちながら、がんで通院している者が多数 平成22年32.5万人 → 令和元年44.8万人)
- 仕事上の理由で適切な治療を受けることができないケースがみられる
(例：糖尿病患者の約8%が通院を中断、その理由は「仕事（学業）のため、忙しいから」が最多の24%)

➡ 疾病にり患した労働者の治療と仕事の両立が重要な課題

- 治療と仕事の両立に悩む事業場が少なくない
(例：従業員が私傷病になった際、企業が従業員の適正配置や雇用管理等に苦慮する事業所90%)

➡ 事業場が参考にできるガイドラインの必要性

治療と仕事の両立支援を行うための環境整備

- 事業者による基本方針等の表明と労働者への周知による両立支援の必要性等の共有と実現しやすい職場風土の醸成
- 労働者や管理職に対する研修等による意識啓発
- 労働者が安心して相談・申出を行える相談窓口の明確化
- 短時間の治療が定期的に繰り返される場合などに対応するため、時間単位の休暇制度、時差出勤制度などの検討・導入
- 主治医に対して業務内容等を提供するための様式や、主治医から就業上の措置等に関する意見を求めるための様式の整備
- 事業場ごとの衛生委員会等における調査審議

治療と仕事の両立支援の進め方

① 労働者が事業者へ申出

- ・労働者から、主治医に対して、一定の書式を用いて自らの業務内容等を提供
- ・それを参考に主治医が、一定の書式を用いて症状、就業の可否、時短等の望ましい就業上の措置、配慮事項を記載した書面を作成
- ・労働者が、主治医に作成してもらった書面を、事業者へ提出

② 事業者が産業医等の意見を聴取

- ・事業者は、労働者から提出された主治医からの情報を、産業医等に提供し、就業上の措置、治療に対する職場での配慮に関する意見を聴取

③ 事業者が就業上の措置等を決定・実施

- ・事業者は、主治医、産業医等の意見を勘案し、労働者の意見も聴取した上で、就業の可否、就業上の措置（作業の転換等）、治療に対する配慮（通院時間の確保等）の内容を決定・実施
※その際には、上記の具体的な支援内容をまとめた「両立支援プラン」の作成が望ましい

※詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。

治療と仕事の両立

検索

- ・治療と仕事の両立について

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000115267.html>

- ・事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン(令和4年3月改訂版)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000912019.pdf>

